

輸出事業計画

申請者名：日本加工食品輸出推進協議会

品目：加工食品（畜産加工品）

1. 輸出における現状と課題

- ・**現状**：香港市場における日本製品の展開は、市場シェアの約2～3割に過ぎない日系スーパーに偏っている。
- ・**課題**：香港向け輸出では、英語ラベル等の法定表示対応、原材料・添加物確認、国内でのラベル貼付作業、物流コスト、賞味期限・廃棄ロス対応が課題である。また、チルド商品特有の短い賞味期限や廃棄ロスリスクが、現地小売側の導入ハードルとなっている。

2. 輸出事業計画の取組内容

Ready-to-Sell物流と混載ハブ化：国内で英語ラベル貼付・規制確認を行い、現地到着後すぐ販売できる状態で出荷する。

冷凍流通・店頭解凍販売：冷凍流通を活用し、現地小売で必要分のみ解凍販売することで、賞味期限・廃棄ロスの課題に対応する。

冷凍流通・店頭解凍販売スキーム：日本の冷凍技術を活用して賞味期限と廃棄ロスの課題を完全に解決し、現地ローカル最大手へ専用OEM商品（ハンバーグ、ローストビーフ等）を定常的に投入する。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

実務統括会社が全体をコントロールし、現地委託先のPRスタッフが店頭で収集した「現地のリアルな消費者の声」を、メーカーの製品改良やローカライズに即座に反映させる機動的なPDCAサイクルを運用する。

4. 輸出目標額

輸出先国：香港

輸出する品目：加工食品（冷凍ハンバーグ、ローストビーフ等）

目標金額：令和10年度 6946万円

